

## 第2回 (昭和46年)



ひろはた      じょわ  
**廣島      鋤和 氏**

( 本名 廣 島 幾太郎 )

生年月日      明治23年4月19日生

住      所      田辺市神子浜

明治23年(1890年)4月、西牟婁郡田辺町(現田辺市栄町)に生まれる。幼少より父義甫に、花と絵を学び、のちに大阪・北野恒富画伯、京都・西山翠嶂画伯に師事し、日本画、壁画等を修める。

田辺市内の海蔵寺観音堂や本正寺本堂に「天人と蓮」の絵のほか、下三栖如来本堂の天井絵も納めている。

昭和2年(1927年)、盆景花を創案、同時に華道広円流を創立。文部省主催の日花展や百人展に連続出瓶。この間、大阪府花道協会理事、和歌山県展華道部審査員、日本いけばな芸術協会評議員、県華道連盟会長、同顧問等を務め、華道の普及指導に尽くす。

世界いけばな芸術作家展、現代いけばな芸術家展、いけばな五十人展等に招待出瓶。和歌山県文化功労賞。